かわの情報誌

さぁて

2020 春号

NO. 109

特集

【いのちを守る！ 川の防災】

◇SNSを活用した防災の取組について
三重県県土整備部河川課
三重県防災対策部災害対策課

◇大阪府における「逃げる」施策の取組について
大阪府都市整備部河川室河川整備課

トピックス

◇道頓堀川・船着場にかかるネーミングライツについて
大阪市建設局企画部河川課

◇ダム寄ってく？ ダム広報あれこれ
滋賀県土木交通部流域政策局水源地域対策室

◇猪名川クリーン作戦
猪名川河川事務所

かわの情報誌 “さらさ” 第１０９号

ページ

河川紹介

2 **淀川** …… Ⓐ

特集

【いのちを守る！ 川の防災】

3 **SNSを活用した防災の取組について** …… Ⓑ
三重県県土整備部河川課
三重県防災対策部災害対策課

5 **大阪府における「逃げる」施策の取組について** …… Ⓒ
大阪府都市整備部河川室河川整備課

トピックス

7 **道頓堀川・船着場にかかるネーミングライツについて** …… Ⓓ
大阪市建設局企画部河川課

10 **ダム寄ってく？ ダムの広報あれこれ** …… Ⓔ
滋賀県土木交通部流域政策局水源地域対策室

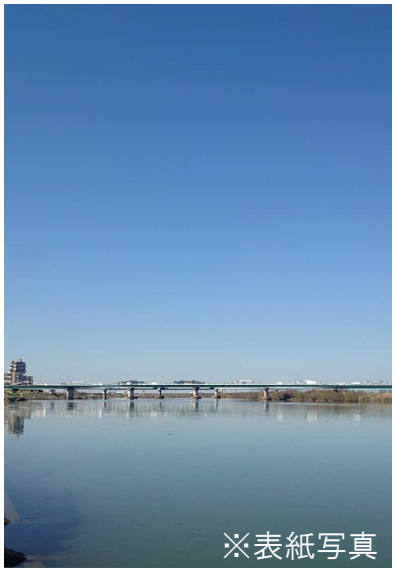
11 **猪名川クリーン作戦** …… Ⓕ
猪名川河川事務所

季節の水辺風景

12 **大谿川（兵庫県）**

インフォメーション

13 **鴨川探検！再発見！第５５弾**
（京都府建設交通部河川課）

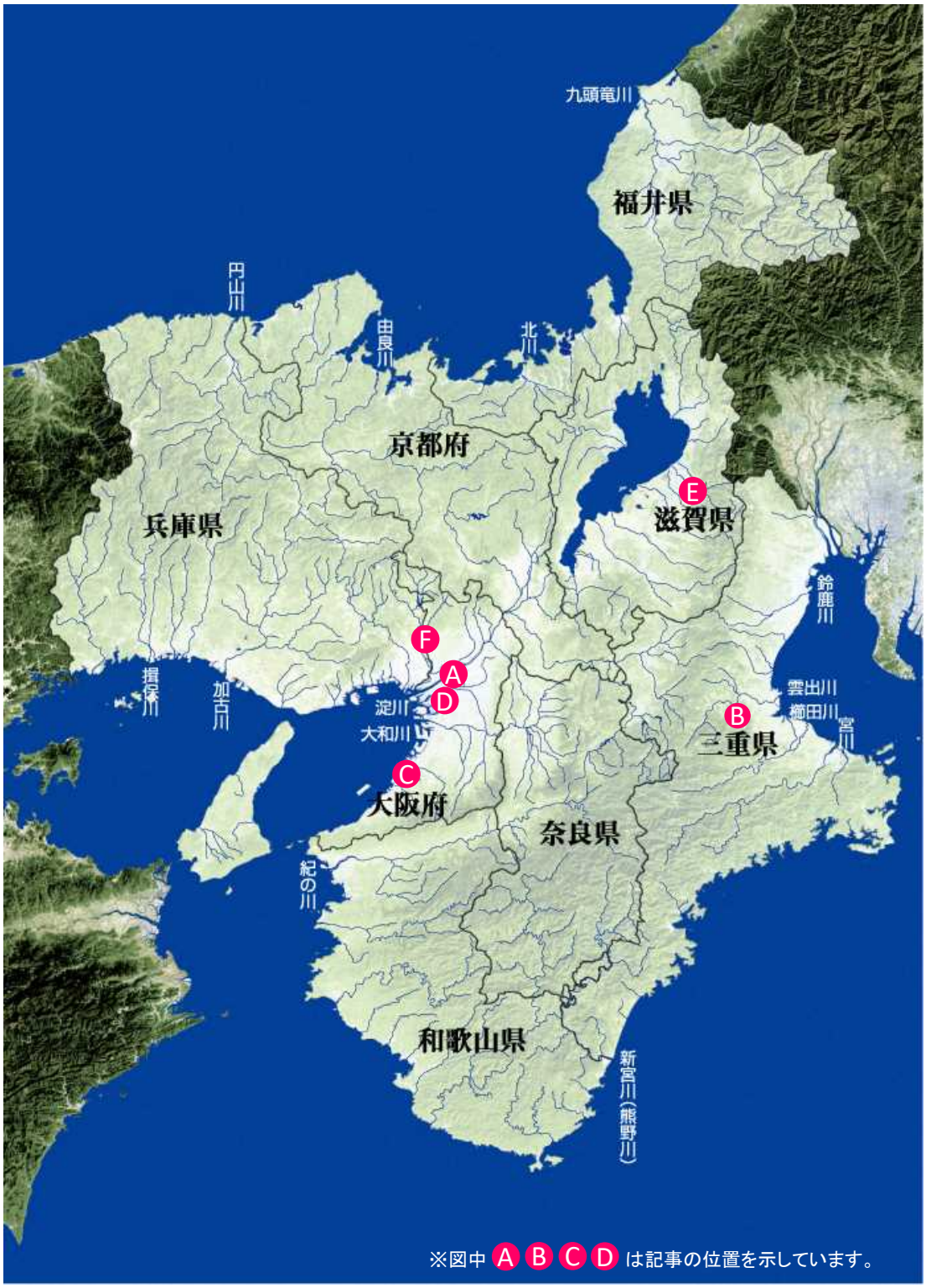


淀川と枚方大橋（大阪府枚方市）

Ⓐ 淀川

その源を滋賀県山間部に発する大小支川を琵琶湖に集め、大津市から河谷状となって南流し、桂川と木津川を合わせて大阪平野を西南に流れ、途中、神崎川及び大川（旧淀川）を分派して大阪湾に注ぐ、幹川流路延長75㎞の一級河川である。

近畿圏の中心を貫いている本川は、下流部に大阪市、中流部に京都市やその他数 多くの衛星都市をかかえ、関西地方の社会、経済、文化の基盤をなしており、古くから我が国の政治・経済の中心として栄え、人々の生活・文化を育んできた。



淀川河川公園枚方地区

SNS を活用した防災の取り組みについて

三重県県土整備部河川課
三重県防災対策部災害対策課

1．はじめに

三重県は、SNS や AI 技術を活用した災害時の避難行動の促進に取り組んでおり、令和元年９月に国や伊勢市、民間の企業・研究機関と連携して実証訓練（高齢者等の避難支援 LINE を活用した逃げなきゃコール）を行いました。

実証訓練では、住民や水防団の協力のもと、コミュニケーションアプリの LINE でチャットボット（AI を活用した自動会話プログラム）を活用し、画面でのやりとりに従い、浸水状況などの情報を入力し、地図上に映し出すことで、災害対応に必要となる被害箇所の把握や避難を呼び掛けました。

2．実証訓練（高齢者等の避難支援 LINE を活用した逃げなきゃコール）

①LINE 版防災チャットボット「SOCDA」を活用した防災情報の提供

河川情報、避難情報等の警戒情報を LINE 版防災チャットボット「SOCDA」※を通じて住民等に発信しました。その情報を家族の一員もしくは、全員が取得しました。

※ SOCDA（ソクダ）は対話型災害情報流通基盤による自動対話システム（防災チャットボット）が動作する実証実験用 LINE 公式アカウント。国民一人ひとりの避難と災害対応機関の意思決定を支援することを目的に、現在研究開発中です。

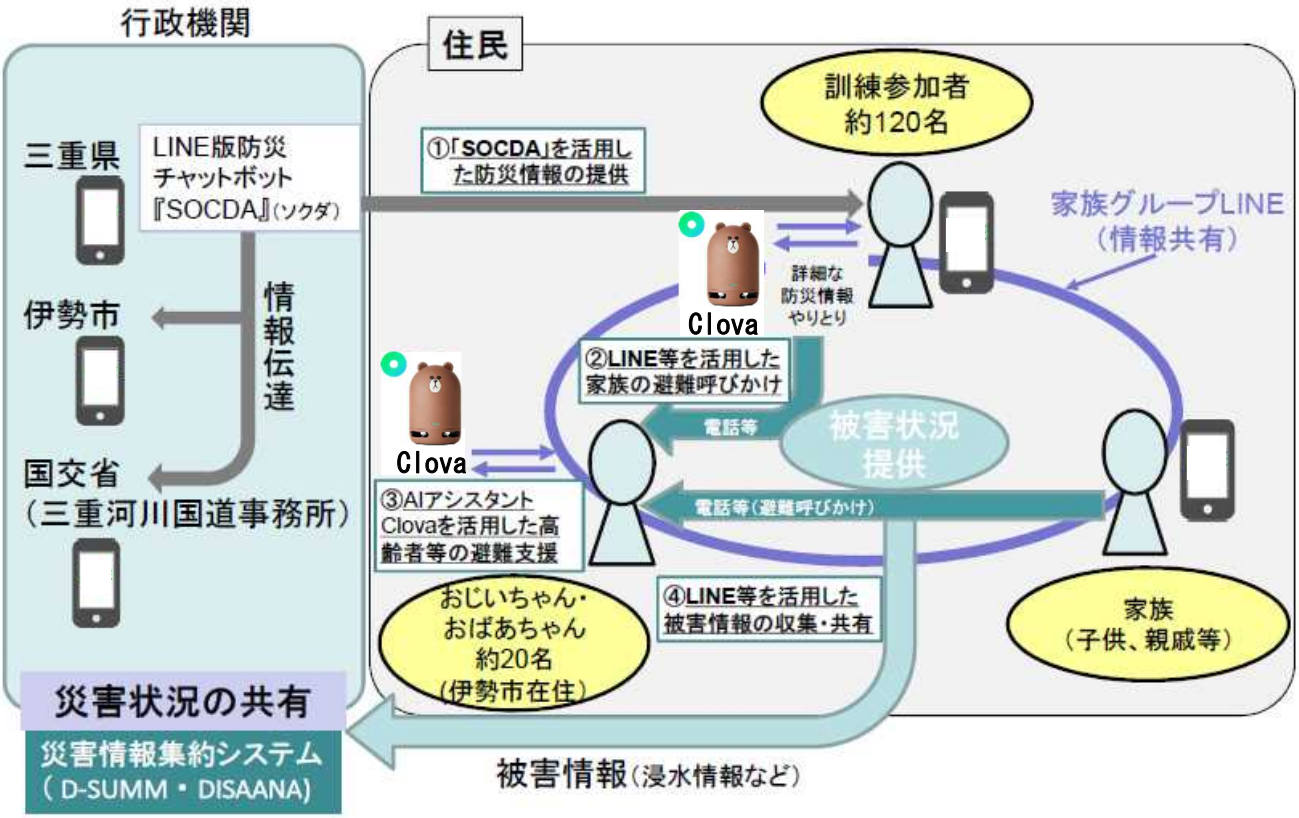


図-1　高齢者等の避難支援（LINE を活用した逃げなきゃコール）イメージ図

②LINE 等を活用した家族の避難呼びかけ

LINE 版防災チャットボット「SOCDA」から通知された警戒情報を家族グループトークで共有し、離れた家族に避難の呼びかけを行いました。また、スマートフォンの操作が苦手な高齢者等に対しては、電話による避難の呼びかけを行いました。

③AI アシスタント Clova（クローバ）を活用した高齢者等の避難支援

スマートフォンの操作が苦手な高齢者等に対しては、家族からの LINE の情報や避難の呼びかけを AI アシスタント Clova による音声情報により支援しました。また、高齢者等が自ら避難行動するための防災情報や避難に関する情報を AI アシスタント Clova を活用して入手しました。

④LINE 等を活用した被害情報の収集・共有

住民から LINE 版防災チャットボット「SOCDA」を通じて被害情報を収集し、分類して地図にマッピングしました。その情報を WEB 上で行政や住民が共有しました。

図-2　SNS を活用した防災マッピング画面

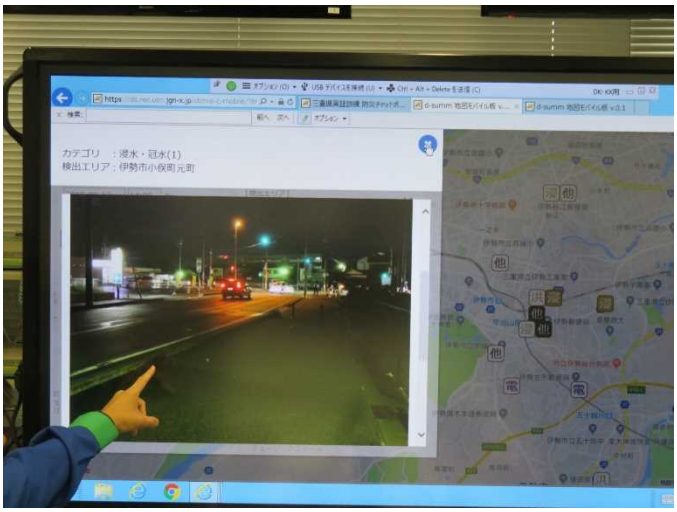


写真-1　LINE 等を活用した被害情報の収集・共有

3．おわりに

実証訓練を通して、SNS を活用した家族の避難呼びかけや被害情報の収集・共有は、住民の自らの避難行動や円滑な水防活動に有効であることが確認できました。また、高齢者からの問いかけに AI アシスタント Clova が避難場所を音声で回答したり、家族から高齢者に「逃げてね」と直接連絡するなど、高齢者の適切な避難行動の一助になることも確認できました。

訓練後のアンケートでは、約 7 割の行政関係者が「水害時の的確な行動や早期判断が可能になる」と回答し、約 8 割の訓練参加者が「LINE からの防災情報や河川情報が、避難行動の検討につながった」と回答するなど、今後の SNS を活用した防災への取り組みに対して大きな期待が寄せられています。

写真-2　AI アシスタント Clova（クローバ）搭載スマートスピーカー

大阪府における「逃げる」施策の取組みについて

大阪府都市整備部河川室河川整備課
伊丹　一利

1. はじめに

大阪府は、淀川、大和川の河口部に位置し、三方を山に囲まれた地形的な特性により、過去から幾度となく水害や土砂災害を受け、近年では、多発する集中豪雨などにより、都市型水害や土砂災害の危険性が高まっています。

このため、大阪府では、「人命を守ることを最優先とする」基本理念のもと、洪水・土砂災害リスクを府民と共有するとともに、「逃げる」「凌ぐ」「防ぐ」各施策を効率的・効果的に組み合わせるトータルマネジメントにより治水・土砂対策を進めています。今回は、その内の「逃げる」施策の取組みについて紹介します。

平成 24 年 8 月　寝屋川市の浸水状況

2. 「逃げる」施策について

「逃げる」施策では、洪水氾濫や土砂災害の発生に備え府民の皆さんが躊躇なく自ら避難行動をとれるように、危機管理型水位計をはじめ、河川カメラなどによる河川防災情報の充実を図り、想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図(洪水リスク表示図)の作成・公表や、防災関係機関(国市町村等)が同じ時間軸で取るべき防災行動を整理したタイムラインによる防災を広げています。

1)河川防災情報の提供

ホームページで雨量、水位など観測情報や、ダム、調節池等の河川施設の貯留状況をリアルタイムに提供しています(図-1)。また、氾濫危険情報や土砂災害警戒情報など市町村長が避難勧告等を発令する目安となる情報発表時には、府から市町村長に直接連絡するホットラインを構築し運用しています。

また、これまでに水害が発生しやすく人命への影響が想定される箇所に河川カメラを 60 か所設置し、府民自らが適切に避難を行えるよう「目で見える情報」として、ホームページで画像を提供しています(図-2)。

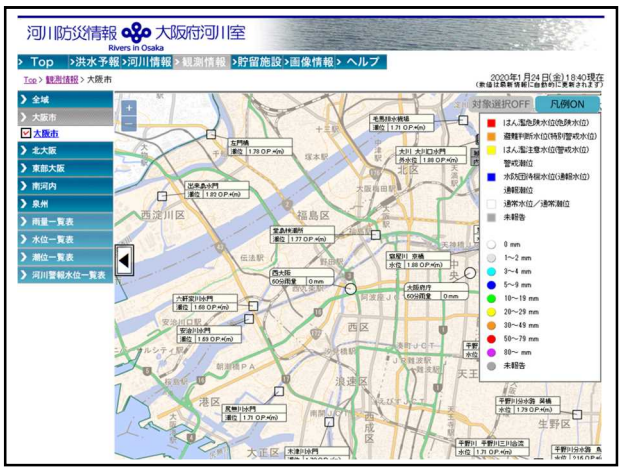


図-1　「河川防災情報」ホームページ画面

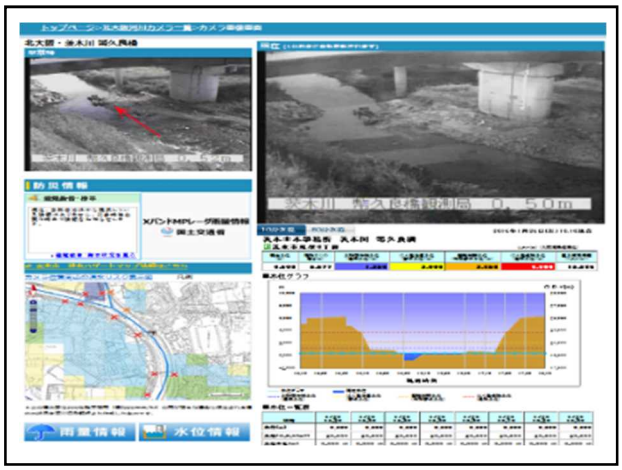


図-2　「大阪府河川カメラ」のホームページ画面

2)洪水リスク表示図等の作成・公表

大阪府では、様々な降雨により想定される河川の氾濫や浸水の可能性を府民にわかりやすく伝えるため、平成 25 年 3 月、府が管理する全 154 河川で洪水リスク表示図を公表しました。洪水リスク表示図とは、大雨が降って河川が氾濫した時に想定される被害を、浸水する深さと洪水による水の流れの強さをもとに 3 段階の危険度で示したもので、ホームページで公開しています(図-3)。平成 27 年 5 月の水防法改正に伴い、想定最大規模降雨(1,000 年以上に 1 回の降雨)による洪水浸水想定区域図の公表を洪水予報河川や水位周知河川だけでなく府が管理する全 154 河川を対象に取り組んでいます。(令和 2 年 2 月現在、34 河川公表済み)

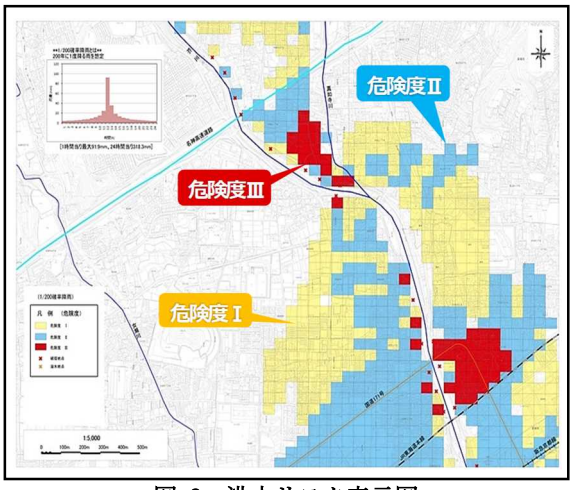


図-3　洪水リスク表示図

3)おおさかタイムライン防災プロジェクト

「タイムライン防災」とは、府民の命を守り、被害を最小化することを目的とし、防災関係機関が連携して、災害時に発生する状況をあらかじめ想定し共有した上で、「**いつ**」「**誰が**」「**何をするか**」に着目し、防災行動とその実施主体を時系列に整理した計画です。大阪府では、タイムラインを以下の 3 つ(図-4)に分類し、平成 29 年からリーディングプロジェクトに着手しました。この内、寝屋川流域大規模水害タイムラインは、平成 30 年 8 月に完成し、台風第 21 号など一連の台風接近時において実運用しました。これらの先行事例をモデルに、洪水や土砂災害、高潮災害など異なるハザードも対象に加えながら、国や市町村と連携し、タイムライン防災を大阪府全域に拡げています。

図-4　タイムラインプロジェクト

3. おわりに

今回は、大阪府における「逃げる」施策の取組みについて紹介しました。「人命を守ることを最優先とする」基本理念のもと、適切な河川防災情報の発信に努め、様々な防災関係機関と連携し、府民自らの適切な防災行動に繋がるよう、引き続き「逃げる」施策の取組みを進めていきます。

道頓堀川・船着場にかかるネーミングライツについて

大阪市建設局企画部河川課

１　はじめに

大阪市では、近年の厳しい財政状況を踏まえ、所管財産を有効活用して自主財源を確保する取り組みを進めております。

本市管理河川の道頓堀川は、大阪の繁華街「ミナミ」の中心を東西に流れており、大阪を代表する河川として広く人々に親しまれています。道頓堀川には船着場を3か所設置しておりますが、小さなサイン柱等があるのみで、非常にわかりにくい状況となっております。（**図－１**参照）

船着場のネーミングライツを導入することによって船着場の知名度向上を図るとともに、河川施設を有効活用し、得られた収入を河川の維持管理に活用することを目的として、ネーミングライツについて、賛同企業を募集することとしました。

図－１　太左衛門橋船着場

図－２　船着場設置場所

２　道頓堀川船着場ネーミングライツパートナー企業の募集

基本的な条件設定については、本市建設局における先行事例であり、比較的類似性が高いと考えられる歩道橋ネーミングライツ等を参考としました。

なお、パートナー企業による通称名の掲出標示は、来訪者に対し船着場の存在を示すための河川施設の改良といえることから、河川法第20条に基づく承認工事と位置づけ、パートナー企業による適切な維持管理を条件としています。

募集の概要及びパートナー企業の決定までの経緯は次のとおりです。

（１）対象とする船着場

太左衛門橋船着場、日本橋船着場、湊町船着場（**図―２**参照）

（２）ネーミングライツの内容

・船着場への企業名、商品名（企業ロゴ、マークの使用可）を含む通称名の命名
・安全柵、案内板への通称名の標示
・自社管理媒体（ホームページ、出版物等）におけるパートナー企業である旨の表示
・本市広報物、印刷物等における積極的な表示

（３）契約期間

歩道橋ネーミングライツの事例を参考として、契約日より3年間としました。

（４）　募集契約料

募集における最低価格の設定について、先行する歩道橋ネーミングライツの実績を参照すると概ね年額30万円程度の事例が大半であったことから、30万円を標準として価格設定を検討することとしました。遊歩道で最も通行量の多い戎橋～太左衛門橋間に位置する太左衛門橋船着場は認知度も高いため 30 万円としましたが、湊町船着場及び日本橋船着場は通行量・認知度において劣るとの判断から太左衛門橋船着場の3分の1の価格としました。

【募集における最低価格】
太左衛門橋船着場　30万円以上
日本橋船着場　10万円以上
湊町船着場　10万円以上
※いずれも税抜きの最低価格。
※最低価格は再募集時に公表。
※通称名の標示等に係る諸経費は事業者において負担。

（５）募集経過

募集要項公表・受付開始　平成30年12月17日
価格提案審査　　平成31年1月30日
　※入札結果　　太左衛門橋船着場・湊町船着場
　　応札があったが、最低価格未満により落札者なし
　　日本橋船着場
　　応札者なし
再募集開始　令和元年5月1日
　※募集結果　　太左衛門橋船着場・湊町船着場
　　令和元年5月に1社より応募あり
　　日本橋船着場
　　令和元年6月に1社より応募あり

（６）パートナー企業との協議

以上のように、平成30年12月17日からの当初募集ではパートナー企業の決定に至りませんでしたが、令和元年5月1日からの再募集においては、令和元年5月に太左衛門橋船着場及び湊町船着場、令和元年6月に日本橋船着場について、それぞれ1社より本市が設定する最低価格以上での応募がありました。

応募者の資格審査の結果、いずれも適格と判断されたことから、以後、通称名及び標示デザイン、標示方法等について協議を行い、契約後に通称名の使用を開始することとなりました。

３　ネーミングライツパートナー企業の決定

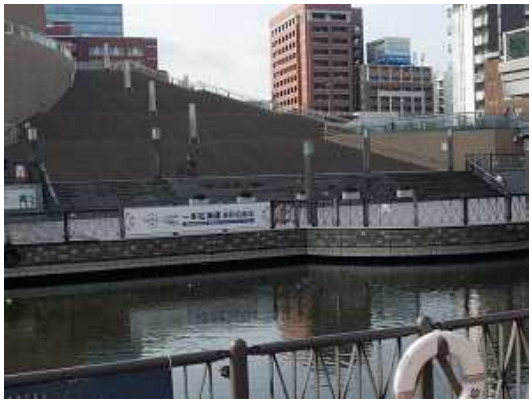
（１）太左衛門橋船着場

・パートナー企業
一本松海運株式会社
・通称名
一本松海運太左衛門橋船着場　（**図－３**参照）
（読み：いっぽんまつかいうんたざえもんばしふなつきば）
・契約料
330,550円（税込、年額）
・契約期間
令和元年10月1日～令和4年9月30日

図－３　太左衛門橋船着場標示

（２）湊町船着場

・パートナー企業
一本松海運株式会社
・通称名
一本松海運湊町船着場　（**図－４**参照）
（読み：いっぽんまつかいうんみなとまちふなつきば）
・契約料
110,550 円（税込、年額）
・契約期間
令和元年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日



図－４　湊町船着場標示

（３）日本橋船着場

・パートナー企業
株式会社 OneOsaka リバークルーズ
・通称名
WONDER CRUISE PARTY 日本橋船着場　（**図－５**参照）
（読み：わんだーくるーずぱーてぃにっぽんばしふなつきば）
・契約料
186,890 円（税込、年額）
・契約期間
令和 2 年 2 月 1 日～令和 5 年 1 月 31 日

図－５　日本橋船着場標示

４　おわりに

今回、船着場のネーミングライツパートナーを募り、パートナー企業が決定し、通称名の標示を開始したことによって、船着場の場所もわかりやすくなり、船着場の知名度向上につなげることができ、なおかつ道頓堀川の水辺空間の賑わい創出に寄与することができました。

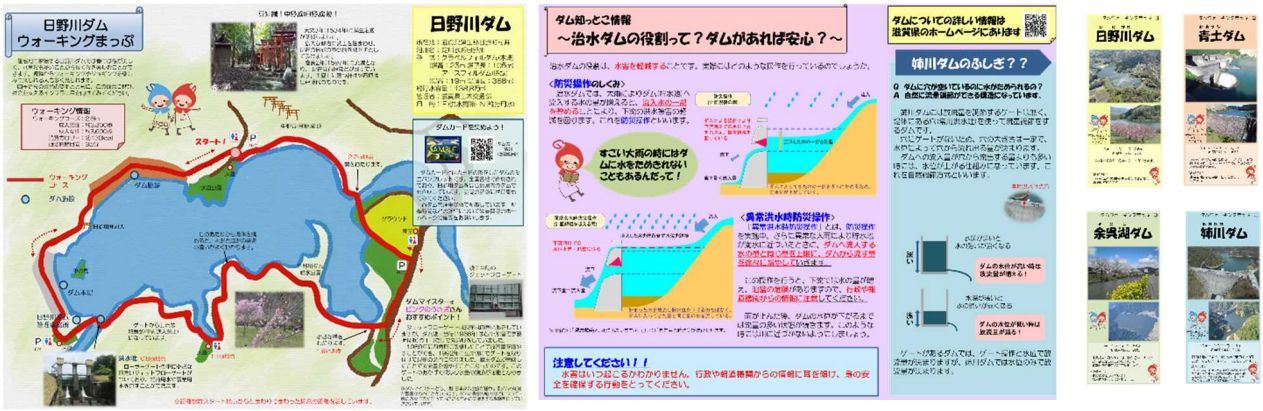
今後も、他の河川施設の活用を視野に入れ、所管財産を有効活用して自主財源を確保する取り組みの拡充を図っていきます。

ダム寄ってく？ ダムの広報あれこれ

滋賀県　土木交通部　流域政策局　水源地域対策室

2018 年の西日本豪雨や 2019 年の台風 19 号など，近年、計画規模を上回る豪雨により浸水被害が各地で発生しています。住民の方の治水への関心が高まりつつある中で、ダムの操作や役割が十分に知られていない状況があります。いざという時の避難行動につなげるためには多くの方々にダムの役割と機能について知っていただく必要があり、気軽にダムに立ち寄っていただき、知っていただくきっかけとするため、積極的な広報に取り組んでいます。

滋賀県では、「健康しが」を目標に、県民の運動習慣を創出する取り組みなどを実施しています。雄大で自然に囲まれたダム湖周辺はウォーキングに適していることから、ダム湖周辺でのウォーキングを紹介し、歩くことをきっかけにダムにも興味を持っていただこうと、『**ダムウォーキングまっぷ**』を作成しました。マップにはダムの地図、写真、ルート上で見られるダム施設の情報を盛り込み、関心を持ってダムを見学しながら歩いてもらえるようなマップとしました。ダムのはたらきについては、『異常洪水時防災操作』のしくみを特にしっかりと伝える必要があると考え、イラストを交えながら、わかりやすい説明となるよう工夫しています。



ダムウォーキングまっぷ

また、ダムのはたらきや機能の紹介とともに、周辺の地域資源や観光スポット情報などを盛り込んだ『**しがのダム周遊マップ**』も作成しました。ぜひ滋賀のダムにお立ち寄りいただき、手に取ってご覧ください。なお数量限定で特製ダムカードポケット付きクリアファイルも配布予定です。

〈配布場所〉
ダム管理事務所、余呉川管理事務所、
県土木事務所、近隣市役所・町役場、
周辺観光施設など
※令和２年４月配布開始予定

余呉湖のダムカード準備中
４月中旬に配布開始予定

しがのダム周遊マップ

第17回猪名川クリーン作戦
～全19箇所で１240人参加～

猪名川クリーン作戦は、猪名川のゴミ拾いを通して猪名川に関心を持ってもらい、流域の住民・企業・行政のネットワーク作りを目指し、猪名川・藻川を多様な生き物が棲める清流にすることを目的として、毎年2月に開催されています。

今年も、猪名川流域の団体や企業が実行委員会として連携し、猪名川河川レンジャーも協力して、流域の一斉清掃に取り組みました。終了後のゴミの回収は自治体に協力をいただき、官民連携して取り組むことができました。

■日　時：令和2年２月１５日（土）９時３０分～１１時３０分頃
■場　所：猪名川・藻川の河川敷　19箇所
■参　加：１240人
■主　催：猪名川クリーン作戦実行委員会
（猪名川流域の４４の団体・企業等による構成）
後援：河川管理者、関係自治体、猪名川河川事務所

猪名川クリーン作戦の様子

【開会式】

猪名川運動公園前

【ゴミの不法投棄の状況】

清和台下下流エドヒガン大木近辺

【ゴミ収集の様子】

猪名川町上野字宮垣内中谷橋付近

猪名川・最明寺川合流点

【実行委員長のコメント】
○新たな参加団体が増加したり、現在の参加団体の関係者の参加が増えるなど、年々盛り上がりを見せている。この良い傾向を伸ばしつつ、一般参加の促進を講じていきたい。
○不法投棄に対し、昨年度に監視カメラ増設などの対策を講じたが、カメラの死角となる場所への不法投棄が拡大していた。今後、自治体と対策協議を進めていきたい。

【集合写真】

猪名川・最明寺川合流点

桑津橋地点集合写真

【成果】
○各地点で多くのゴミを回収することができた。
○全地点合計の回収量は、可燃ゴミ744袋、不燃ごみ119袋、缶・ビン44袋。その他に粗大ゴミ等。

【参加者の声】
○例年同様、タイヤや家電等の不法投棄、プラスチックゴミ等のポイ捨てが多い。カラスによるゴミの散乱も目立つ。
○ゴミが川に入る前に、海に流れ出る前に、誰かがひとつでも拾う必要があり、この活動は大変意味がある。

城崎温泉街の夜桜

大谿（おおたに）川（兵庫県豊岡市）

城崎温泉は、コウノトリが傷を癒やしたことから見出されたと言われています。道智上人による開湯以来千三百年、温泉の効能や優れた景観が人気を集めて、名だたる文人墨客も訪れました。

七つの外湯を浴衣に下駄で巡るのが名物で古風な日本の情緒が外国からの観光客にも好評です。風情あふれる城崎温泉街の真ん中を流れる大谿川沿いの柳並木が有名ですが、春の桜並木もおすすめ。

清楚な桜が水面に映えて、街は一気に華やいだ雰囲気に。日が落ち、ぼんぼりに灯が点ると、昼間とは違った艶やかな姿を見ることができます。

特別記事　今年度のさらさを振り返って

■担当者コメント

初夏を感じさせる表紙のさらさ 106 号。

兵庫県、滋賀県で水面を彩る花火大会などのイベントを特集頂きました。

水面に映える綺麗な花火の写真が満載なので”映える”風景、写真が好きな方は必見です。

■担当者コメント

朱に色付きはじめた足羽川の風景が表紙のさらさ 107 号。

京都府、奈良県で実施している、水災害への対策を特集。

地域の安全を守るため、各地で様々な対策が進められています。

■担当者コメント

日本の滝 100 選にも選ばれている滝川の幻想的な風景が表紙のさらさ 108 号。

和歌山県、福井県の河川構造物（ダム）の魅力を特集しています。

記事を参考に大迫力のダムを是非、ご覧ください。

かわの情報誌”さらさ”は近畿地方整備局 HP にて、バックナンバーも含めて公開しています。
「かわの情報誌さらさ」で検索頂くとスムーズに見つけることができますで、是非ご覧ください。

■インフォメーション

鴨川探検！再発見！第 55 弾！

■日時：令和 2 年 5 月 23 日（土）
　　10 時～12 時

■場所：京都市北区（北山大橋周辺）

■概要：京都市内を流れる鴨川の河川敷を散策し、春に見られる生き物を観察します。

■問い合わせ先：京都府建設交通部河川課
　　TEL　075-414-5288

■編集後記

今年度最後のかわの情報誌”さらさ”がここに無事、発刊できました。ひとえに年度末のお忙しい時期にも関わらず、記事の作成に協力いただいた各府県・政令市のご担当者様のご尽力によるものと思っております。この場を借りて感謝を申し上げます。

来年度も引き続き、かわの情報誌”さらさ”をよろしくお願いします。

近畿地方整備局地域河川課　調査指導係員

編集・発刊：三重県、福井県、滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県、国土交通省近畿地方整備局